

The TOKUYA TIMES

とくや
タイムズ

自民党
豊橋市議団
個人版

New

http://itotokuya.com/

伊藤 とくや

Winter, 2023, vol.68

未来へ 繋ぐ 『本市の都市づくり』について

第68号 ごあいさつ

令和5年度12月議会は、喫緊の問題として大きく2問

1 『未来へ 繋ぐ 本市の都市づくり』

- ① 本市の都市づくりにおける視点や考えについて
 - 都市計画におけるデジタル社会への対応について
- ② 本市における持続可能な都市づくり
 - 「活気あふれる元気なまち」であり続ける活性化について
- ③ コロナ禍と人口減少を踏まえた持続可能な地域公共交通
 - コロナ禍によって影響を受けた交通事業者への支援について
- ④ 中心市街地公園樹や街路樹の大木化、老木化について
 - 伐採した後の植え替えについて、ムクドリ被害や気候変動による温暖化など環境が変化するなか、樹種の考え方について

2 夏季における体育の授業の在り方について

- ① 救急搬送等体調を崩した児童生徒の現状と分析について
それぞれ、議論を深めました。



本市都市づくりの視点と考え

【質問の意図】

宇都宮市にて開催された中核市サミットのテーマは『未来世代への責任と実践～夢や希望がかなう中核市を目指して～』でした。

- 基調講演にて、日本都市計画学会会長 **森本章倫教授**は、
- 過去の潮流から未来を計画する【Forecasting】思考
- 未来のありたい姿から現在を考える【Backcasting】思考を交えた2つのアプローチから未来を考えることが重要である。

● 都市計画とは、そもそも『都市の将来あるべき「人口、土地利用、主要施設等」を想定し、そのために必要な規制、誘導、整備を行い、都市を適正に発展させようとする方法や手段』だが

- コロナの影響は、私たちの生活に**大きな影響**を与え、
- 地球温暖化は着実に進み**脱炭素**への取り組みは**待ったなし**
- 激甚化する**自然災害**への**対応も急務**
- 一方で、人工知能 AI や自動運転などの、**新技術の実用化**は、私たちの**日常生活を大きく変化**させる可能性を秘めている。

♡ 3つのキーワードは

- ① 温室効果ガス排出量正味ゼロとする**ネットゼロ**、新しい状況に対応し将来に備える**レジリエント**な都市。
- ② 誰一人取り残さず多様なニーズを考えた**インクルーシブ**な都市。
- ③ 都市の課題に対応する、**デジタル技術活用の推進**でした。

そこで、**本市の都市計画を点検しますと**

👉 現行の本市都市計画マスタープラン 2021-2030 は、概ね20年後の**2040年**の都市の姿を展望したのですが、

👉 **コロナ禍で急速に進展・発展した、都市の課題に対応するデジタル技術の活用方策が、目標像と基本方針からは伺えません。**

答弁● 少子高齢化、地球環境問題、大規模自然災害の懸念、急速に進歩する情報通信技術など、都市づくりを進めるうえでの社会情勢は大きく変化してきています。

- 本市の強み「**豊かな自然や景観**」を活かしながら、将来にわたり暮らし続けられるよう、居住誘導による人口の集約、集落地での**地域コミュニティ維持**など、市民の**快適な「生活・暮らし」**を支えていくことを念頭に置く必要があります。
- **持続可能な都市**を形成する観点から「**産業の活性化や交流を促進**」するとともに、既存ストック「**都市施設等の適正管理・活用**」も考慮する必要があります。
- 頻発化・激甚化する「**自然災害等への備え**」も都市づくりに求められています。
- 本市は、「**自然・景観**」、「**生活・暮らし**」、「**産業と交流**」、「**都市施設等の適正管理・活用**」、「**自然災害等への備え**」の5つの視点が重要と考えます。
- **デジタル社会に対応していくことも大変重要**と考えます。

【再質問の意図】

👉 **森本教授**によれば、都市計画の基本は**3つの間(はざま)をつなぐ**こととのこと。

- 最初の間は、**場と場の間(空間)**のあり方を考える空間デザイン。
- 2の目の間は、都市の持続性に代表される**時と時の間(時間)**を繋ぐ役割。
- 最後の間は、老若男女等多様な**人と人との幸せ(Well-being)**を考える。
- 中核市サミットでは、サイバー空間における新たな価値として、**3次元仮想空間内サービスの躍進**を示し、**フィジカル空間とサイバー空間の連携**を提示していました。
- これらを踏まえた**未来の都市計画**には、**デジタル社会への対応は不可欠**です。

都市計画におけるデジタル社会への対応とは

答弁● 本市は、まちづくりDXの推進として、国が進める**3D都市モデル整備・活用・オープンデータ化の「プロジェクト プラトール」**に参画、従来の都市計画基礎調査データを活用し市全域の**3D都市モデルを整備、オープンデータ化**を進めています。

- **防災まちづくりワークショップ**での活用始め、**地域の課題解決やニーズに合わせたサービスの創出**が期待され、**スマートシティの推進**にも寄与すると考えます。

まとめ

- **3D都市モデルのオープンデータ化の効果**が、インターネットを通じて、行政だけでなく、**民間企業や大学など、様々な方が活用**されることを、**心底期待**します。

持続可能な本市都市づくりについて

全国的に人口増加に伴い市街地は拡大してきましたが、人口減少を
え、維持管理コスト、公共交通サービスの維持など課題が派生しています。

●一方で**地球温暖化**は着実に進み、**脱炭素**に向けた取り組みは**待ったなし**の状況で、**激甚化する自然災害**への**対応も急務**、**持続可能な都市機能への転換**が求められており、**期待や要望はさらに高まる**と確信します。

答弁●本市の都市計画マスタープランは、**目標像**を掲げております。

①「**快適に暮らせるやさしいまち**」は、自家用車に過度に頼らなくても、拠点や生活圏に応じた過ごし方、暮らし方ができるようなまちを目指す。

②「**活気あふれる元気なまち**」は、まちの魅力活力が広く伝わり、何度でも訪れて巡りたくなる賑わいづくりと持続的な産業発展が出来るまちを目指している。

③「**自然豊かな美しいまち**」は、社会や経済活動を支える基盤となる、豊かな自然環境を思いやりながら、心地よく暮らせる美しいまちを目指す。

④「**安全・安心がつづくまち**」は、自然災害等の有事に備え、先を見据えた都市経営により、災害に強く安全で安心な暮らしが続くまちを目指すとのこと。

●これら4つの目標像は、それぞれ**持続可能な都市**に関わるものであり、目標像の実現に向けてまちづくりを進めていく必要があると考えております。

【再質問の意図】

■全国的に過去に於いては、人口増加に伴い市街地は拡大してきた。

■しかし、人口が減少している中、**道路や公園**などインフラの**維持管理コスト**や、**公共交通サービスの維持**など、様々な課題を抱えている。

■また、**地球温暖化**は着実に進み、**脱炭素**に向けた取り組みは**待ったなし**の状況で、**激甚化する自然災害**への**対応も急務**といえます。

●都市環境が激変する中、**持続可能な都市機能への転換**が求められており、**都市計画に対する期待や要望**は今後さらに**高まる**と確信します。

活気に溢れ、豊かに暮らせる、元気であり続ける更なる活性化とは

●本市は**豊橋駅**を中心に**都市機能が集積**し、**都市拠点としての中心市街地が地域全体に及ぼす社会的・経済的な意義は極めて大きく**、**活気あふれる元気なまち**であり続けるために**まちなかの活性化が不可欠**です。

●これまで、**子ども未来館**や**穂の国とよはし芸術劇場**、**まちなか図書館**、**まちなか広場**などの各拠点と、それらを結ぶ通りを整備し、官民連携し各拠点や通りの**公共空間などを活用したイベント開催**や、**SNSによる情報発信**などに取り組むことで、一定の成果を挙げて来ました。

●今後は多様な人々が思い思いの過ごし方ができ、**何度も訪れて回遊したくなる空間を、まちなか全体で形成することが重要**であると考えており、引き続き**豊橋まちなか未来会議**や**TMO**、**事業者**など**様々な団体と連携**し、より面的な取り組みを波及させ**活性化につなげてまいります**。

まとめ■本市に臨む目指すまちの姿は、あらゆる世代が**デジタル技術活用**によって発展する「**夢や希望がかなうまち**」「**人口減少化でも、次の世代が社会を支えられる人金モノが循環する都市**」です。

コロナ禍と人口減少を踏まえた持続可能な地域公共交通

【質問の意図】

宇都宮中核市サミットの**目玉**は、本年開業した**LRT**であり、**基調講演は交通戦略を交えた、「交通と都市の関係」を基とした未来の都市計画**でした。

●**地域公共交通**は、**高齢者**や**学生**などにとり、暮らしを支える**移動手段**です。

●しかし**人口減少・モータリゼーション**発展により**維持確保が厳しい**状況です。

■そこへ**コロナ禍**です。

●公共交通に与えた打撃は**極めて深刻**であり、未だに**通勤通学を除く全国の公共交通は利用者の減少に苦慮**しています。

■そこへ、**エネルギー**を始めとした様々な物資や原材料などの**価格上昇**です。

■本市は**豊橋市都市交通計画 2016-2025**を策定していますが、**新たな課題**を乗り越えて、何としても**地域の公共交通の維持**に努めてもらいたい。

答弁●公共交通は、これまでのモータリゼーションの普及や、近年の**新型コロナウイルス**の影響により、**利用者の数は減少**しつつあります。

●一方、**原油価格等の上昇**を受け、**運行経費**や**施設整備費の負担**は**大きくなり**、**交通事業者の経営は大変厳しい**状況となっています。

●特に**コロナ禍**が本市の**路線バス**、**鉄軌道**、**コミバス**に与えた影響は、**定期外一般利用にて回復が鈍い**状況です。

●**タクシー**は、午前を中心とした**高齢者**による**通院等**の利用により、**コロナ禍前**の水準まで回復してきていますが、**夜間回復が厳しい**状況です。

●今後の**人口減少**を踏まえると、**利用者増加の見込みの目途がつかない**状況が続くほか、**2024年**運転士確保問題、**老朽化した施設更新**など、**公共交通幹線軸を中心とした公共交通ネットワークを維持**するために、**課題に向き合い解決していく必要がある**と認識しています。

【再質問】

コロナの影響を受けた一般利用者利用促進や交通事業者への支援

●**コロナ禍**による影響を受けた**定期外**の利用回復や**新たな利用者**を獲得するため、**公共交通の沿線店舗の魅力発信**をするなど**新たな利用目的の創出**や、**子育て世帯が公共交通を身近に感じ、安心して利用できる**よう**体験型イベント**を開催するなど**利用促進**を図ってきました。

●**交通事業者の運行経費**や**施設の維持費**に関しては、**国、県の補助金の活用**や、**他市との連携**を図るなど、**安全安心で安定した運行**を維持するために**必要な支援**を行ってきました。

●**新たな担い手**となる**運転士**を確保するための**就労支援**や**M a a S**の**充実**など**新しい技術**を活用した**利便性の向上**へ**支援**を行ってきました。

●今後も、**支援を継続**するとともに、**新技術の活用**や**国県からの支援**、**効果的な利用促進**を行い**地域公共交通**を維持して参ります。

まとめ

■**コロナ禍**の**人流抑制**で**利用者が大きく減った**公共交通。**観光路線、貸し切りバス**などの**収益**で**生活路線の赤字分**を補ってきた**従来モデルが崩壊**している。

●**全国の鉄道・バス**では**大幅な減便**が行われ始めた。**事業者**だけでは**交通網の維持が難しい**時代、**住民**や**自治体**は**どう関わり、どれほどのコストを負担**していけばいいのか？

●**バス運転士の2024年問題**はじめ、**働き方改革関連法の適用**が始まるが、**ドイツ**の様な**自律走行する路面電車**を、私は**豊橋**で見たい。

●次なる**地域公共交通計画『豊橋市都市交通計画 2026-2035』**の策定における、**持続可能な支援**について**注視**して行きたい。

公園樹街路樹の大木化老木化について

【質問の意図】

市民に**安心感**と**快適な空間**をもたらす**街路樹**、**歴史**や**自然**、**運動**など**魅力ある公園**の**整備・景観の維持**については**期待**しているところです。

●しかし、**戦後の都市復興**や**経済成長**に対応する**公害対策**としての**公園緑地**や、**街路樹整備**などで**数多くの高木が植栽**されましたが、**成長**が**続き**、**公園樹**や**街路樹は大木化**や**老木化**している**樹木**が増えつつあり、**管理**に於いては、**倒伏**や**枝折れ**を防ぐという**安全対策**が求められています。

答弁●**中心市街地**は、**周辺部**と比較して**緑が少なく**、**緑化重点地区**にも**指定**されており、**緑を充実**していく**必要**があります。

●また**公園樹**や**街路樹**は、**緑陰**などの**環境改善機能**や**都市の景観形成機能**などを有し、**まちなかの快適な環境**を創出するには**必要**なものです。

●しかし、**中心市街地**の**樹木**は**年数が経過**し、**大木化**や**老木化**が進み、**7月**には**広小路通り**の**大木化した街路樹**が**根の腐朽**により、**倒木**するなど、より**一層樹木の適正な安全管理**が求められています。

●**対応**としては、**公園樹**や**街路樹の安全管理**を進めるため、**定期的な剪定**や**パトロール**のほか、**目視による外観診断**に加え、**根株の診断**を行い、**危険性が確認**された**樹木**は、**適宜伐採**し、**適正な管理**を行います。

【再質問】

♡**続きは**・**豊橋市議会のHP**より、**インターネット映像中継**の録画がご覧いただけます。**最新の活動**は**伊藤とくやホームページ**より、**フェイスブック**にてご覧ください！

その他の質問 夏季における体育の授業の在り方について

- 救急搬送**を含め、**体調を崩した児童生徒の現況と分析**について
- 体育の授業**等における**児童生徒の体調管理**、**小中学校の体育館**へ**空調設備**を導入する際の**優先順位**について議論しました。

発行

伊藤とくや事務所

豊橋市松葉町 3-70

☎090-3855-9696 bbito@me.com



Tokuya HP